

4. クラウンによる仮設住宅サロン活動、 及びクラウン育成講座開催

グループ名	静岡市民クラウンの会
代表者	松村 達也

① 活動の目的

私共は、静岡市で開催されている「大道芸ワールドカップ in 静岡」の運営スタッフである「市民クラウン」により構成されています。クラウンとは、道化師のことです。市民クラウンは、大道芸ワールドカップを訪れる全ての来場者をお迎えし、会場内では直に触れ合い、相手の個々の合わせた対応を取ることで全ての来場者を笑顔にするスキルを有するスタッフです。

東日本大震災以降は、市民クラウンの有志メンバーで上記スキルを生かした復興支援の活動を続けています。これまでの活動の結果、現地の方々がクラウンの活動に興味を持って頂くことが出来るようになりました。

これまでは私共が現地に赴き活動することが主でしたが、今後は私共の活動スキルを現地の方々に教えることで、私共の活動を現地の方々に引き継いで頂き、今後の復興の一助になることに重点を移していきます。

② 活動の概要

東日本大震災以降は延べ50日以上現地に赴き、仮設住宅でのサロン活動、復興イベントへの参加等の活動を行ってきました。

今回は上記目的を達成するために、以下の活動を行いました。

- [1] 仮設住宅におけるサロン活動を通し、現地の方々に私共の活動を理解して頂く
- [2] 復興支援団体間の会議に参加し、現地のニーズを積極的に収集する
- [3] 現地で開催される復興イベントへの参加を通し、クラウンへの理解を深めて貰う
- [4] 現地のボランティアサークルの手伝いを行うことで、クラウンへの理解を深めて貰う
- [5] クラウン育成ワークショップの開催
- [6] ワークショップ受講者と共に復興イベントへ参加

これらを通し、将来を担うお子さん達、現地で活動している復興支援団体、住民の方々、現地で頑張っている高校生のボランティアリーダーなどに、私共クラウンのことをより一層理解して頂く事を目指すと共に、クラウン育成ワークショップの開催により実際にクラウンとなり、一緒に活動が出来る事を目指します。

③ 活動の成果

今回の期間中、山元町及びいわき市を17往復し、下記の活動を行いました。

(効率よく事業を進めるため、1回の往復で複数の活動を行っています。)

- [1] 仮設住宅におけるサロン活動：14回
- [2] 復興支援団体間の会議への参加：5回
- [3] 現地で開催される復興イベントへの参加：6回
- [4] 現地のボランティアサークルの手伝い：2回
- [5] クラウン育成ワークショップの開催：6回
- [6] ワークショップ受講者と共に復興イベントへ参加：1回

上記活動を通し、現地のボランティアリーダーがクラウンとして復興イベントに参加することができました。

今後は今回の成果をより発展させ、永く現地に根付いた活動とすべく発展させていきます。

④ 活動の様子



サロン活動の様子（山元町）



サロン活動の様子（いわき市）



復興支援団体間の会議の様子



復興イベントへの参加ー1



復興イベントへの参加ー2



ボランティアサークルの手伝い



クラウン育成ワークショップの様子ー1



クラウン育成ワークショップの様子ー2



クラウン育成ワークショップ参加者と共に復興イベントに参加

⑤ 決算報告書

収入の部	大同生命厚生事業団 助成金		200,000 円
	他助成金		310,000 円
	自己資金		337,594 円
	収入合計		847,594 円
支出の部	交通費	静岡からの往復高速代、ガソリン代 (17 往復分)	443,684 円
	活動費	サロン活動用チラシ印刷費開催備品類 他	8,780 円
		ワークショップ開催備品類	56,367 円
	宿泊費	山元町及びいわき市におけるスタッフ宿泊費	161,360 円
	講師代	講師謝礼	144,000 円
		講師交通費	33,403 円
支出合計		847,594 円	